

# 妊娠中にかかると重症化する VPD

ワクチンで予防可能な病気を VPD (Vaccine Preventable Disease) と呼びます。

大人がかかると子どもよりも重症化する VPD に、妊婦がかかるとさらに重症化します。妊娠中の麻疹 (はしか) の感染は、たいへん重大です。妊婦自身の死亡や流産・早産のリスクが高まります。妊娠初期の風しんは、おなかの赤ちゃんに先天性風しん症候群 (生まれつき心臓や耳、眼に障害がある) のリスクを高めます。

MR (麻疹風しん) などの生ワクチンは妊娠中には受けられませんので、妊娠前にパートナーと一緒に接種しておきましょう。妊娠出産の年代の女性がいる家族や職場などでは、性別、未既婚に関わらず、子どもも大人もワクチン接種による予防を心がけましょう。

<b>麻疹(はしか)</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・空気感染し感染力がたいへん強く、ワクチン未接種者が感染するとほぼ発症する。</li><li>・大人は重症化して入院治療が必要。妊娠中の感染は、早産・流産のリスクとなる。</li><li>・かかったことのない人は、ワクチンを 2 回接種。</li></ul>	<b>MR ワクチン 2 回</b> ※1990 年度生まれから MR は 2 回の定期接種の機会あり (現在は 1 歳、就学前年)
<b>風しん</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・大人は軽症で済む場合もあるが、発疹や発熱がなくても人にうつす可能性がある。</li><li>・妊娠初期の感染は、先天性風しん症候群のリスクが高い。</li><li>・かかったことのない人は、男女ともにワクチンを接種。</li></ul>	<b>MR ワクチン 2 回</b> ※風疹の免疫のない人が多い世代 S37 年 4/2~54 年 4/1 生まれの男性 S54 年 4/2~62 年 10/1 生まれの男女
<b>水痘(みずぼうそう)</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・空気感染し感染力がたいへん強く、ワクチン未接種者が感染するとほぼ発症する。</li><li>・10 代~大人の感染は、重症化しやすく入院リスクが高い。</li><li>・かかったことのない人は、ワクチンを 2 回接種。</li></ul>	<b>水痘ワクチン 2 回</b> ※2014 年から 2 回の定期接種 (1 歳~2 歳)
<b>おたふくかぜ</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもに比べて重症化しやすく、合併症リスクが高くなる。</li><li>・後遺症として一生治らない重度の難聴がある。</li><li>・かかったことのない人は、ワクチンを 2 回接種。</li></ul>	<b>おたふくかぜワクチン 2 回</b>

## 夫婦、家族間で感染しやすい VPD

パートナーが B 型肝炎キャリアの場合には、直ちにワクチンを接種します。同居の家族にいる場合には、子どもから高齢者まで家族全員がワクチンを接種します。(血液検査の要否については医師とご相談ください)

<b>B 型肝炎(急性肝炎、慢性肝炎)、肝臓がん、肝硬変</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・B 型肝炎ウイルスに感染し急性肝炎をおこす。一部は劇症肝炎で重症化する。</li><li>・欧米型の B 型肝炎ウイルスは、年長者の感染でも慢性化するリスクが高い。</li><li>・家族内や性交渉などで B 型肝炎ウイルスに感染し、一部がキャリア化する。</li><li>・家族やパートナーが B 型肝炎キャリアの場合は直ちにワクチンを接種。</li></ul>	<b>B 型肝炎ワクチン 3 回</b> ※2016 年から定期接種 (0 歳)

## 妊娠中のワクチン接種で赤ちゃんがかかりにくくなる VPD

妊婦がワクチンを接種すると、移行抗体で新生児のインフルエンザや低月齢の赤ちゃんの百日せきを予防する効果があります。妊婦は積極的に、ワクチンを接種しましょう。

インフルエンザ	
<ul style="list-style-type: none"><li>・毎年、冬に流行し、職場では出勤停止などの措置が取られることもある。</li><li>・肺炎など重症化を予防するにはワクチン接種が有効。</li><li>・妊婦が感染すると重症化することがある。</li><li>・妊婦がワクチンを受けると出生後の赤ちゃんに予防効果がある。</li></ul>	毎年秋に インフルエンザワクチン 1 回
百日せき	
<ul style="list-style-type: none"><li>・百日せきに対する免疫力が低下して、小学生～大人の百日せきが増加。</li><li>・乳児がかかると命に関わるため、周りの者がうつさないようにワクチンを接種。</li><li>・出生後の赤ちゃんの予防のために、欧米では妊婦が成人用ワクチンを受ける。</li></ul>	三種混合ワクチン 1 回(現在、日本には成人用三種混合ワクチンはない) ※乳幼児は四種混合ワクチン 4 回定期接種

## 予防接種の免疫力が弱くなっている VPD

ワクチン接種で免疫を強化しておきます。あわせてワクチンの接種回数を確認しておきましょう。

日本脳炎	
<ul style="list-style-type: none"><li>・日本脳炎ウイルス感染のブタから蚊を媒介して感染。アジアでは広く流行がある。</li><li>・ワクチン未接種者はワクチン接種(北海道在住も含む)。</li><li>・日本脳炎の流行地への渡航の際には追加接種が必要。</li></ul>	【追加接種】 日本脳炎ワクチン 1 回 【ワクチン未接種者】 日本脳炎ワクチン 3 回
破傷風	
<ul style="list-style-type: none"><li>・二種混合ワクチンを受けて 10 年たつと追加接種が必要。</li><li>・災害地などボランティアに参加する場合は、あらかじめ接種が必要。</li></ul>	【追加接種】二種混合ワクチンまたは破傷風ワクチン 1 回 【ワクチン未接種者】三種混合ワクチン 3 回